

## 研究活動報告

(2008年12月～2009年11月)



### 凡 例

- (1) 現在の研究テーマ
- (2) 著書・論文ほか
- (3) 研究発表・講演
- (4) 学外集中講義
- (5) 海外出張・研修、そのほかの海外での活動
- (6) 科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など
- (7) 共同研究
- (8) 弘前大学人文学部主催の学会・研究会等

## ○文化財論講座

諸岡道比古

(1)現在の研究テーマ

ドイツ観念論思想における「宗教」論の研究

須藤弘敏

(1)現在の研究テーマ

東アジア仏教絵画史 東北の美術 文化政策

(2)著書・論文ほか

〔研究ノート、報告書、その他〕

編集及び全巻執筆『南部の仏像 - 青森県史叢書 三八上北地方寺院文化財調査報告書 -』 全287頁 青森県 2008年12月

「影向図と来迎図」ほか7点コラム及び項目執筆『日本美術史ハンドブック』 新書館 2009年3月

(4)学外集中講義

秋田大学「シルクロードの歴史と宗教」9月28日～30日

(7)共同研究

青森県下寺院文化財悉皆調査（21年度は黒石市平川市ほか） 青森県

杉山祐子

(1)現在の研究テーマ

アフリカ農耕民の在来知と社会的変化、「動く身体」からみる「在来知」研究の可能性、ジェンダー、地方都市における自営業

(2)著書・論文ほか

杉山祐子（単著）「われらベンバ」の小さな村 居住集団の日常と王国をつなぐしかけ 河合香吏編『集団 - 人類社会の進化』京都大学学術出版会 2009年12月

(3)研究発表・講演

「だれもが「母親」 - アフリカ焼畑農耕民ベンバの「母親」のすがた」日本霊長類学会第25回大会（名古屋学院大学）公開シンポジウム『母親』招待シンポジスト

(5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動

イギリス 2009年8月

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

基盤研究（B）「マイクロサッカードとしての在来知に関する人類学的研究」研究代表者

(7)共同研究

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所「人類社会の進化史的基盤研究（2）」

(8)弘前大学人文学部主催の学会・研究会等

「マイクロサッカードとしての在来知」研究会 2009年6月および10月

宮坂朋

(1)現在の研究テーマ

カタコンベ壁画

古代地中海の文化交流

(2)著書・論文ほか

〔論文〕

「半開の扉 ヴィア・ラティーナ・カタコンベ墓室F壁画図像解釈」、『美術史』166号、2009年3月、p.397-410.

(3)研究発表・講演

『Sulla pittura funerale del TJ04 nella Necropoli di Ramali, Tiro, Libano (イタリア語)』, (パレルモ大学考古学特別講義、イタリア共和国) 2008年12月16日

- 「ローマのヘルクレス／ヘラクレス」、第15回ヘレニズム～イスラーム考古学研究会（金沢大学）2009年7月5日  
 「地中海美術紀行」（青森大学オープンカレッジ）2009年9月11日  
 ‘The Preliminary Report of the Excavation at Ramali, in Tyre’, Le VIIème congrès international des études phéniciennes et puniques, La vie, la religion et la mort dans l’univers phénico-punique, (Hammamet: 10-14 novembre 2009、チュニジア共和国）2009年11月11日
- (5) 海外出張・研修、そのほかの海外での活動  
 イタリア共和国（科研による調査）2009年9月13日 - 29日  
 チュニジア共和国（科研による学会発表および調査）2009年11月8日 - 20日
- (6) 科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など  
 科学研究費補助金（基盤研究（C））研究課題：「ヴィア・ラティーナ・カタコンベ壁画に関する包括的研究」
- (8) 弘前大学人文学部主催の学会・研究会など  
 弘前大学60周年記念事業シンポジウム『縄文遺跡群の世界遺産登録に向けて』討論コーディネーター、2009年10月24日

## 関 根 達 人

- (1) 現在の研究テーマ  
 北方史、近世墓、亀ヶ岡文化
- (2) 著書・論文ほか  
 関根達人「近世墓標に現れた自己意識」『歴史』112輯 91～118頁 東北史学会 2009年4月25日  
 関根達人「本州アイヌの狩猟と漁撈」『動物と中世』155～186頁 高志書院 2009年7月15日  
 関根達人・佐藤雄生「出土近世陶磁器からみた蝦夷地の内国化」『日本考古学』28号、69～87頁 2009年10月10日  
 関根達人「北奥の12世紀 - 堂ヶ平経塚の検討 - 」『平泉文化研究年報』9 17～32頁 岩手県教育委員会 2009年3月31日  
 関根達人・齋藤岳・杉原重夫・金成太郎「サハリン（樺太）島内遺跡出土黒曜石製造物の原産地推定 - 故船木鐵太郎氏コレクションから - 」『明治大学博物館研究報告』14号 79～90頁 2009年3月31日  
 関根達人・上條信彦『成田コレクション考古資料図録』弘前大学人文学部附属亀ヶ岡文化研究センター 2009年3月6日  
 関根達人「書評 森本伊知郎著『近世陶磁器の考古学』」『季刊考古学』108号、98頁 2009年8月1日
- (3) 研究発表・講演  
 関根達人「北奥の12世紀」第9回平泉文化フォーラム 平泉小学校体育館 2009年2月7日  
 関根達人「北日本（北海道・青森・岩手県域）における江戸時代後期の陶磁器の流通」第19回九州近世陶磁学会 佐賀県立九州陶磁文化館 2009年2月8日  
 関根達人「相馬焼VS瀬戸焼」東北学院大学アジア流域研究所公開シンポジウム『東廻り航路における請戸港の位置付け』ふれあいセンターなみえ 2009年9月12日  
 関根達人「北日本におけるヒトとモノの交流 - 擦文からアイヌへ - 」平成21年度厚真の発掘調査を語る会（アイヌ文化の成立前後をめぐる）厚真町総合福祉センター 2009年10月3日  
 関根達人「青森県むつ市川内宿野部不備無遺跡の発掘調査の概要」、青森県考古学会平成21年度秋季大会研究発表会、三内丸山遺跡縄文時遊館 2009年10月10日  
 関根達人「縄文遺跡群を世界遺産登録するための課題」弘前大学創立60周年記念シンポジウム - 縄文遺跡群の世界遺産登録に向けて - 、弘前大学創立50周年記念会館（みちのくホール） 2009年10月24日  
 関根達人「大槌代官所の陶磁器はどこから来たの？」平成21年度大槌町歴史文化講演会、大槌町総合促進交流センター（御社地ふれあいセンター） 2009年11月28日
- (6) 科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など  
 基盤研究（B）「近世墓と人口史料による社会構造と人口変動に関する基礎的研究」（研究代表者）  
 弘前大学機関研究「亀ヶ岡文化研究に基づく教育基盤の充実と地域文化の創成」（研究代表者）
- (8) 弘前大学人文学部主催の学会・研究会等  
 寄贈記念特別展「成田彦栄氏考古資料展」（人文学部附属亀ヶ岡文化研究センター 2009年10月23日～11月1日）

## 足 達 薫

- (1) 現在の研究テーマ  
 「人間はなぜ、どのように、そしてどれほど感動的に絵や彫像を造り、見て、楽しんできたのか」について、イタリア美術史を素材にして熟考中。

(2) 著書・論文ほか

ジュリオ・カミッロ『劇場のアイデア』足達薫訳、ありな書房、2009年（ISBN：978-4-7566-0906-9）

(3) 研究発表・講演

【講演】

「マニエリスムの時代の眼、ジュリオ・カミッロの美術論を中心に」東北大学文学部、美学・美術史研究室、2009年11月13日

(5) 海外出張・研修、そのほかの海外での活動

ローマで資料調査（9月）（下記、科学研究費補助金による調査）

(6) 科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

文部科学省科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究「修辞学、詩学、俗語文学におけるマニエリスムの造形原理の実証的・文献学的研究」（最終年度）

## 山 田 厳 子

(1) 現在の研究テーマ

口承文化・唱導文化と民俗・女性の身体と出産をめぐる民俗

(2) 著書・論文ほか

【論文】

山田厳子「民俗と世相——『烏滸なるもの』をめぐる——」小池淳一編『民俗学的想像力』2009年3月、せりか書房 39-59頁

【その他】

山田厳子・飯倉義之編『世間話関係文献目録 口承 研究のとびら』2009年10月、世間話研究会 553頁

山田厳子「エンマバサマ」『東奥日報』「民俗が語る青森」2009年8月11日

山田厳子「弾よけのオシラサマ」『東奥日報』「民俗が語る青森」2009年9月22日

(3) 研究発表・講演

【研究発表】

山田厳子「第二次大戦後の東北日本における巫女と英霊」国際日本学研究会第3回学術大会、2009年9月5日、韓国・高麗大学校日本研究センター

山田厳子「祭祀者の身体と神像 津軽のオシラサマを起点にして」青森県民俗の会主催・平成21年度青森県学術財団助成事業 シンポジウム「東北のオシラ神を探る」2009年9月23日、青森市男女共同参画プラザ・カダール

山田厳子「出産と呪術——『生あるもの』と『生なきもの』の弁別——」国立歴史民俗博物館共同研究「兆・応・禁・呪の民俗誌」2009年10月24日、国立歴史民俗博物館第2会議室

【講演】

山田厳子「怪異の名づけ 場所の記憶と経験」青森県立郷土館特別展記念講演会 2009年8月30日

(4) 学外集中講義

筑波大学 2009年9月28日～30日

(5) 海外出張・研修、そのほかの海外での活動

2009年9月4日～7日 韓国ソウル市 国際日本学研究会第3回学術大会

(6) 科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

科学研究補助金 基盤研究（C）「第二次世界大戦下のオシラサマ信仰と民間巫者」（研究代表）

(7) 共同研究

「日本とユーラシアの交流に関する総合的研究」人間文化研究機構連携研究

## 上 條 信 彦

(1) 現在の研究テーマ

脱穀・粉碎技術からみた北日本縄文時代史

礫石器における使用痕研究・残存デンプン粒分析などの先端的研究法の開発

(2) 著書・論文ほか

【研究ノート、報告書、その他】

関根達人・上條信彦2008『成田コレクション考古資料図録』弘前大学人文学部附属亀ヶ岡文化研究センター

(3) 研究発表・講演

上條信彦「円筒土器文化圏における食料加工技術の研究 - 礫石器の使用痕分析および残存デンプン粒分析を中心に - 」『平成20年度三内丸山遺跡報告会』三内丸山遺跡 縄文時遊館・青森。2009年3月

上條信彦「民具の使用痕観察 - トチムキ石を中心に - 」『第14回石器使用痕研究会』東北大学・仙台。2009年3月

上條信彦・渋谷綾子「使用痕分析および残存デンプン分析からみた三内丸山遺跡の食料加工技術の研究」『日本文化財科学会第26回大会』名古屋大学・名古屋。2009年7月（ポスター発表）

上條信彦「縄文における食の問題 - 縄文人は何を食べていたか？ - 」『弘前大学創立60周年記念シンポジウム「縄文遺跡群の世界遺産登録に向けて」』弘前大学・弘前。2009年10月

(6) 科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

「食料加工技術からみた北日本における農耕受容過程に関する研究」日本学術振興会科学研究費補助金（若手研究B）代表者

「亀ヶ岡文化研究に基づく教育・研究基盤の充実と地域文化の創成」『平成21年度 弘前大学機関研究』分担者

「セム・レプリカ法からみた縄文時代の資源利用の研究」『平成21年度弘前大学若手研究者支援事業』代表者

## ○思想文芸講座

新 田 茂

(1) 現在の研究テーマ

ノヴァーリスの作品における自然哲学について

C.D.フリードリヒの絵画における自然寓意法について

植 木 久 行

(1) 現在の研究テーマ

中国古典詩の詩跡研究、日本の俳諧歳時記所引漢籍考、弘前の鷹城吟社研究

(2) 著書・論文ほか

〔著書〕

『佐藤子雀漢詩選』鷹城吟社、2009年11月、総177頁。

〔論文〕

「『増補俳諧歳時記菜草』所引校読記 俳諧の字義・春の部（1）」『中国詩文論叢』第27集、2008年12月、pp.212～229。

「『増補俳諧歳時記菜草』所引漢籍考」『人文社会論叢』（人文科学篇）第21号、2009年2月、pp.25～45。

「『増補俳諧歳時記菜草』所引校読記（2） 春の部・夏の部」『人文社会論叢』（人文科学篇）第22号、2009年8月、pp.155～174。

(3) 研究発表・講演

「李白と杜甫 二人の交流をめぐる詩」 秋田大学公開講座（東アジアの文化と社会）、2009年10月13日。

田 中 岩 男

(1) 現在の研究テーマ

ゲーテ『ファウスト』研究

(2) 著書・論文ほか

〔論文〕

「道化の知恵 『ファウスト第二部』第一幕、「宮廷」の場をめぐる」、『東北ドイツ文学研究』第52号、2009年7月、19 - 45頁

「トリックスターの彷徨 「古典的ヴァルブルギスの夜」のホムンクルス」、『モルフオロギア』第31号、2009年10月、47 - 76頁

(3) 研究発表・講演

弘前大学ドリーム講座：「ファウストと近代」青森県立青森南高等学校、2009年11月

## 今 井 正 浩

### (1)現在の研究テーマ

西洋古代の医学と哲学思想との間の影響関係をめぐる思想文化史的研究  
医学・医療に関する倫理思想史的研究  
アリストテレスを中心とした西洋古代の生物学思想についての哲学・思想史的研究

### (2)著書・論文ほか

#### [論文]

今井正浩(単著)「ギリシアの医学思想における「パンゲネシス」の系譜」日本科学史学会編『科学史研究』第48巻(No.249) [岩波書店刊] 2009年3月25日発行 pp. 22~33.

今井正浩(単著)「ギリシアの医学思想における発生の問題 ―生殖について― 第6章~第8章の議論の分析を中心に」日本西洋古典学会編『西洋古典学研究』LVI [岩波書店刊] 2009年3月26日発行 pp. 41~52.

今井正浩(単著)「身体が発見史 身体概念の成立をとおしてみたギリシアの人間観の展開をめぐり一考察」『セミナー医療と社会』第35号 2009年6月30日発行 pp. 5~22.

#### [翻訳・注解]

今井正浩(単著)「アリストテレス『動物の発生について』第I巻 日本語訳と注解」弘前大学人文学部『人文社会論叢』[人文科学篇] 第22号 2009年8月31日発行 pp. 91~154.

### (3)研究発表・講演

Masahiro IMAI 'The Hippocratic Tradition in Early Hellenistic Medicine' 4th December, 2008. The Research Seminars, School of Humanities and Social Sciences, University of Exeter, UK.

今井正浩「ヒポクラテスの医学と同時代のギリシア思想」(講演)科学史学校 第22期 2009年10月24日 明治大学秋葉原キャンパス

### (5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動

在外研究 イギリス エクセター大学 西洋古典学・古代史学科 2008年11月21日~2008年12月9日

国際学会 Teleology in the Ancient World イギリス エクセター大学 2009年7月5日~7月14日

### (6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

平成20年度科学研究費補助金・基盤研究(C)一般(研究代表者)研究課題名「ギリシア人の人間観への医学思想の影響をめぐる思想文化史的研究」

### (7)共同研究

第13回ギリシア哲学セミナー 主題「アリストテレス『弁論術』『詩学』」 2009年9月12日~13日 京都大学

弘前大学人文学部言語文化研究プロジェクト(研究分担者)研究課題名「言語とコミュニケーション その文化と思想」

## 李 梁

### (1)現在の研究テーマ

『幾何原本』の翻訳研究、近世東アジアの新知識体系研究、陳独秀研究、建築、詩跡などを中心とする景観研究

### (2)著書・論文ほか

#### [論文]

「前川國男と日本の現代主義建築」、香港中文大学中国文化研究所『二十一世紀』(総113期)、2009年6月号、96~106頁。

「『幾何原本』翻訳研究緒論」、韓国現代中国研究会『韓中言語文化研究』(第20輯)、2009年6月、247~269頁。

#### [研究ノート、報告書、その他]

「中国における文化ナショナリズムの指向性」、弘前大学人文学部『ナショナリズム研究会研究報告書』第1号、2009年3月、39~42頁

### (3)研究発表・講演

「從漢文学到漢学：浅談近代日本の中国学問題」(講演)、2008年12月、中国大連民族学院中国伝統文化研究中心主催、大連民族学院

「前川國男の建築からみたモダニティー問題」(研究発表)、共同研究会「東アジア知的システムの近代的再編」平成21年度第2回研究会、2009年6月、京都・国際日本文化研究センター

「東西会通与近世東亞新知識体系的建構」(研究発表)、第2回世界漢学大会：漢学与跨文化交流(The second world conference on sinology: sinology and cross-cultural communication)、2009年10月、中国北京市・中国人民大学

(4)学外集中講義

放送大学青森校「歴史地理、人種および文化からみた古代中国」(2009年11月28～29日)

(5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動

2008年12月23日～12月29日 依頼講演(上記)および学術交流、中国大連市

2009年10月28日～11月3日 国際学会(上記)研究発表、中国北京市・中国人民大学

2009年11月24日～11月27日 国際学会(中山大学アジア太平洋研究院、歴史系、文化人類学系と国際日本文化研究センターによる共催「東亜近代学術概念的形成和知識空間学術研討会」)司会(分科会)、コメンテーター、中国広州市・中山大学

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など  
学部長裁量金

(7)共同研究

「東アジアにおける近代知の概念の再編」

『幾何原本』の翻訳研究

「近代東アジア学問思想研究」

(8)弘前大学人文学部主催の学会・研究会など

公開講演会「モダニズム建築の先駆者 前川國男がもてたもの」(講演者:松隈 洋京都工芸繊維大学教授)および関連する活動の企画、主催(2009年11月6日～8日)

ナショナリズム研究会

地域研究プロジェクト「再発見される地域の魅力とその可能性」(代表)

## 泉 谷 安 規

(1)現在の研究テーマ

ジョルジュ・バタイユ研究

シュルレアリスム研究

19・20世紀小説における精神医学の影響の関連性について

## 木 村 純 二

(1)現在の研究テーマ

日本倫理思想史における情念論および方法論

(3)研究発表・講演

青森県立八戸高等学校、出張講義「人文学とは何か?」(2009年8月24日)

(6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

科学研究費基盤研究(C)「日本倫理思想史における情念の総合的研究」研究代表者

科学研究費基盤研究(B)「東アジアにおける文明の衝突と「天」観念の変容」研究分担者

## 山 口 徹

(1)現在の研究テーマ

大正期口マン主義文学についての修辞学的研究

(2)著書・論文ほか

[論文]

「官立弘前高等学校資料のなかの太宰治」(弘前大学附属図書館編『官立弘前高等学校資料目録 北溟の学舎の資料群』、PP.16-30、2009年6月、弘前大学出版会)

「森鷗外「ぢいさんばあさん」論 - 語りなおされた「舞姫」(鈴木泰恵/高木信/助川幸逸郎/黒木朋興編『国語教育とテキスト論』、PP.185-198、2009年11月、ひつじ書房)

[その他]

「私の太宰 - その魅力 (44・45)」(「東奥日報夕刊」、一面、2009年6月13・16日、東奥日報社)

「東郷克美著『太宰治の手紙』」(「英語教育」、pp.93、2009年10月、大修館)

「日本近代文学会春季大会所感」(「会報 111」、PP.19-20、2009年10月、日本近代文学会)

## 横 地 徳 広

### (1)現在の研究テーマ

「二世界論」的差異と「時間／永遠」の差異という相即的観点から、カント哲学における「良心」の超越性を解き明かすこと。

### (2)著書・論文ほか

#### [論文]

「時間性の図式と自由 ハイデガー超越論の哲学の帰趨」(弘前大学人文学部社会連携委員会編『人文社会論叢(人文科学篇)』第21号、2009年2月28日)

「贈られた差異を求めて レヴィナスとデカルト」(東北大学哲学研究会編『思索』第42号、2009年9月24日)

#### [研究ノート、報告書、その他]

「テキストからの展望」(野家啓一編著『岩波講座哲学11 歴史／物語の哲学』所収、2009年1月15日、岩波書店)

### (3)研究発表・講演

「生存の場所と応答可能性 レヴィナスの場合」(日本倫理学会、第60回大会、南山大学、2009年10月、ワークショップ発表)

「場所と倫理 レヴィナスの場合」(岩手哲学会、第41回大会、岩手大学、2009年7月、口頭発表)

### (6)科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

平成21年度科学研究費補助金・若手研究(B)「時間現象の倫理学的探究 - ハイデガーとレヴィナスの相互照明」(21720002) 研究代表

平成21年度科学研究費補助金・基盤研究(C)「対話の垂直性 ハイパーダイアログの包括的理解」(21520002) 研究分担

## ○コミュニケーション講座

## 木 村 宣 美

### (1)現在の研究テーマ

句構造の非対称性・線形化と構造的依存関係に関する理論的・実証的研究

### (2)著書・論文ほか

#### [研究ノート、報告書、その他]

報告「学生参加型のFDワークショップ - 効果的な授業シラバスの作成 -」(第3分科会話題提供3)『第58回東北・北海道地区大学一般教育研究会研究収録』82-86頁 2009年3月

### (3)研究発表・講演

報告「教養教育における「成績評価」の取組みについて」(第3分科会提案; 司会 細川敏幸(北海道大学))『平成21年度(第46回) 国立大学教養教育実施組織会議』(弘前大学) 2009年5月

弘前大学ドリーム講座『英語学とは何か』青森県立田名部高等学校 2009年7月

弘前大学ドリーム講座『英語学とは何か』青森県立黒石高等学校 2009年7月

### (6)科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

平成21年度弘前大学人文学部学部長裁量経費『言語とコミュニケーション - その文化と思想に関する調査・研究プロジェクト』(研究代表者)

## 山 本 秀 樹

### (1)現在の研究テーマ

世界諸言語の言語類型地理論的研究

### (2)著書・論文ほか

「現生人類の起源と言語の遠い類縁関係」『言語』(大修館書店) 2009年2月号

### (3)研究発表・講演

出張講義 八戸南高校 2009年6月

弘前大学ドリーム講座 八戸西高校 2009年10月



(6) 科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

平成18～21年度文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C) 「地理情報システムによる世界諸言語の言語類型地理論的研究」(研究代表者: 山本秀樹、研究分担者: 乾秀行、研究協力者: 松本克己)

学部長裁量経費「言語とコミュニケーション - その文化と思想に関する調査・研究プロジェクト」(研究分担者)

## 田 中 一 隆

(1) 現在の研究テーマ

「観客論的視点から見た英国ルネサンス演劇のマルチプル・プロット構造の研究」

(2) 著書・論文ほか

[研究ノート、報告書、その他]

(報告書) “Shakespeare in Translation: The Idea of Nature in *King Lear*,” 『人文社会論叢』第22号、pp. 63-89, 2009年8月31日

(3) 研究発表・講演

(研究発表) 「『リア王』の *nature* シェイクスピアの翻訳について」、2009年度日本比較文学会東北支部比較文学研究会、2009年8月8日、仙台市青年文化センター

(研究発表) 「シャイロックのナショナリズム 『ヴェニスの商人』試論」、第48回日本シェイクスピア学会、2009年10月3日、筑波大学

(6) 科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

平成21年度弘前大学人文学部学部長裁量経費、「言語とコミュニケーション その文化と思想に関する調査研究プロジェクト」(研究分担者)

(8) 弘前大学人文学部主催の学会・研究会など

(学術講演会開催) テネシー大学マーティン校教授Dr. Lynn Alexander, “Laboring Fathers: Representations of Working-class Men in Victorian Literature and Art” (『働く父親たち ヴィクトリア朝の文学・芸術における男性労働者の表象について』)、2009年10月14日、弘前大学人文学部

(学術講演会開催) テネシー大学マーティン校教授Dr. Lynn Alexander, “Breaking the Bonds of Social Expectations: Representations of Working Women in Nineteenth-century American Literature” (『社会的期待からの逃亡 19世紀アメリカ文学における働く女性の表象について』)、2009年10月19日、弘前大学人文学部

(学会開催) 2009年度日本比較文学会東北支部大会、2009年11月28日、弘前大学人文学部

## 上 松 一

(1) 現在の研究テーマ

Second Language Acquisition

Learner Autonomy

(2) 著書・論文ほか

[研究ノート、報告書、その他]

教材 preview: An English textbook on ‘digital education tools’. Oxford University Press. 2009年7月22日

(3) 研究発表・講演

‘What could be a possible/good relationship between English lessons at junior/senior high schools and ones at universities?’

第59回教育研究青森県大会あおり教育のつどい2009「外国語分科会」青森県立十和田工業高等学校 2009年11月7日

(4) 学外集中講義

教育職員免許状更新講習(英語科) 2009年8月22日～23日

(7) 共同研究

第59回教育研究青森県大会あおり教育のつどい2009「外国語分科会」研究協力者 青森県立八戸工業高等学校 2009年11月7日

(8) 弘前大学人文学部主催の学会・研究会など

弘前大学白神研究会「白神研究」第6号 2009年6月30日発行 編集委員

## 小野寺 進

### (1)現在の研究テーマ

チャールズ・ディケンズ  
ナラトロジー（物語理論）  
比較文学・文化論

### (2)著書・論文ほか

#### 〔論文〕

論文「公開朗読とリアリズム - 『オリヴァー・トゥイスト』のナンシー - 」『人文社会 論叢（人文科学篇）』第21号, 2009年2月、pp.47-57.

### (3)研究発表・講演

弘前大学ドリーム講座「『ガリバー旅行記』を読む」三沢高等学校 2009年9月

## 渡 辺 麻里子

### (1)現在の研究テーマ

中世説話文学  
仏教文学  
中世の天台談義書  
了翁と鉄眼版一切経  
天神信仰と文芸

### (3)研究発表・講演

渡辺麻里子「東京大学所蔵嘉興蔵と了翁」（シンポジウム・大蔵経と東アジア世界、東京大学）2009年9月1日

渡辺麻里子「伝忠尋撰『七百科條鈔』について」（天台宗教学大会、大正大学）2009年11月7日

### (4)学外集中講義

#### 〔講義〕

「生徒の学習意欲を高める古典指導——説話文学の魅力——」（平成21年度 講座番号205、高等学校国語科教育講座「言語生活を広げる「読むこと」の指導」、青森県総合学校教育センター）2009年6月18日

### (6)科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

日本学術振興会科学研究費補助金・基盤C一般（H21～H24）「中世における談義書の研究——天台論義を中心として——」  
研究代表者

文部科学省科学研究費補助金・特定領域研究（H17～H21）「宋元明における仏教道教交渉と日本宗教・思想」（代表・小島毅）  
研究分担者

### (7)共同研究

人間文化研究機構国文学研究資料館・基幹研究「19世紀における出版と流通」

## ジャンソン・ミッシェル

### (1)現在の研究テーマ

外国語教育学 フランス語・フランス語教育学

### (2)著書・論文ほか

#### 〔論文〕

「フランス語教育に関する文学作品の利用可能性について」弘前大学人文学部『人文社会論叢』（人文科学篇）第22号

### (4)学外集中講義

山形大学人文学部 2009年8月2日～6日

秋田大学教育文化学部 2009年4月～2010年3月

## 楊 天 曦

### (1)現在の研究テーマ

中国近代小説 中国語圏の映画論

(2) 著書・論文ほか

[論文]

「俗語表現による「空中楼閣」 - 清代小説『何典』をめぐって -」弘前大学国語国文学第30号（平成21年3月）p.9～p.23  
「「小さくて美しい映画」のナショナリズム」弘前大学人文学部ナショナリズム研究会報告書第1号（平成21年3月）  
p.35～p.38

(8) 弘前大学人文学部主催の学会・研究会など

弘前大学人文学部ナショナリズム研究会（平成21年3月まで）

## ○国際社会講座

長谷川 成 一

(1) 現在の研究テーマ

日本近世史の研究

(2) 著書・論文ほか

[著書]

共著『官立弘前高等学校資料目録 - 北溟の学舎の資料群 -』弘前大学出版会 2009年6月 pp.1～94

[論文]

「近世津軽領の「天気不正」風説に関する試論」『弘前大学大学院地域社会研究科年報』第5号 2008年12月 pp.23～43

「近世象潟の景観 - 初期象潟図と景観保全 -」『季刊東北学』第20号 2009年7月 pp.86～98

[その他]

監修・執筆「弘前城築城400年・町・人の歴史万華鏡」東奥日報 1～30

(3) 研究発表・講演

[研究発表]

京都市「近世象潟の景観 - 初期象潟図と景観保全 -」国際日本文化研究センター 2009年8月21日

弘前市「白神山地における森林資源の活用と枯渇」弘前大学白神研究会 弘前大学創立50周年記念会館 2009年7月18日

[講演]

弘前市「弘前城築城400年と地域おこし」あおもりツーリズム人づくり大学「はやて」弘前大学人文学部 2009年8月27日

弘前市「国絵図でみる弘前藩 - 元禄国絵図写から弘前藩の経済・地理をみる -」中南地区地域キャンパス講座 2009年10月28日

(6) 科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

科学研究費補助金 基盤研究C「歴史資料による白神山地の景観と環境の変容に関する研究」（代表）（平成20年度）

科学研究費補助金 基盤研究C「森林・鉱物資源の開発・活用から見た世界自然遺産白神山地の変容」（代表）（平成21年度）

(7) 共同研究

「18世紀日本の文化状況と国際環境」国際日本文化研究センター

(8) 弘前大学人文学部主催の学会・研究会など

2008年度弘前大学国史研究会大会 2009年9月12日

## V. L. カーペンター

(1) 現在の研究テーマ

食糧安全保障

主権とグローバリゼーション

(2) 著者・論文ほか

（2009年に掲載）“Post-WTO Agriculture in East Asia: A Case Study of Apple Products” Gregory Veeck, Victor Carpenter, Sangyool Lee, Heesun Chung, Zhiyang Liu, Kensaku Kanda, Takumi Narita, Xiaochun Huang *Asian Geographer* 2006 (25) 1 & 2: 173-191頁

（2009年に増補改訂版）「アメリカ経済の発展とニュー・エコノミー」嶋田巧（編）『世界経済』（八千代出版、2006年）、71-93頁 2009年5月：[増補改訂版]、81-108頁

(5) 海外出張・研修、その他の海外活動

米国、ミシガン州：ミシガン湖東沿岸部の果物市場の変化などの実態調査、2009.08.05～08.31

米国、ミネソタ州：米国の大学における日本語教育の実態に関する予備調査、2009.09.03～09.08

(6) 科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

挑戦的萌芽研究（21 / 22年度・代表）「台湾市場における青森リンゴブランドの定着プロセスに関する調査研究」

## フィリップス、ジョン・エドワード

(1) 現在の研究テーマ

奴隷制、日本のアフリカ研究、ナイジェリアの政治

(2) 著書・論文ほか

[論文]

“Recent Studies of African History in Japan” *History Compass* v. 7 no. 3, (10 Mar 2009) pp. 554-565 <http://www.blackwell-compass.com/subject/history/> <http://www3.interscience.wiley.com/journal/122250011/abstract?>

(3) 研究発表・講演

“Why Isn't Nigeria Already Developed?” Peking University, September 17, 2009

“Islam in West African History” Peking University of Foreign Studies, September 16, 2009

“Black History in the Age of Barack Obama” California State University, Northridge Department of Pan-African Studies (for Black History Month) February 12, 2009

“White Africanisms” and “Images of Slavery around History” California State University Northridge (J.E. Holloway's class on African American history) January 6, 2009

(5) 海外出張・研修、その他の海外での活動

中国、北京市、北京大学、北京外国語大学

アメリカ合衆国、カリフォルニア州、ノースリッジ市、カリフォルニア州立大学ノースリッジ校

(8) 弘前大学人文学部主催の学会・研究会など

アメリカ合衆国の史学会「ニューヨーク市」

## 齊 藤 義 彦

(1) 現在の研究テーマ

カント研究、第2次メルケル内閣の動向

(7) 共同研究

ナショナリズム研究会報告書 第1号（7～10頁） 2009年3月31日

## 林 明

(1) 現在の研究テーマ

ガンディーの思想及び歴史的再評価、サルヴォダヤ運動、ガンディーの精神の継承

(2) 著書・論文ほか

[論文]

「「心」を問題にした『ヒンド・スワラージ』とその今日的意義」『サルボダヤ』、VOL.49 - 10 - 11、2009年11月、16-22頁

[研究ノート、報告書、その他]

博士論文審査委員、「How Civil Society Can Support Peace or Violence: A Critical Analysis of the Role of Civil Society in Conflict Resolution with Special Reference to Sri Lanka」、広島市立大学、2009年2月

「『ヒンドゥ・スワラージ』に見られるガンディーの目指したインド像」『弘前大学人文学部 ナショナリズム研究会報告書 第1号』、2009年3月、19-22頁

陸奥新報取材協力、「ガンジー思想 どう継承」『陸奥新報』、2009年7月、3頁

(4) 学外集中講義

北東北国立3大学単位互換集中講義、「国際地域を考える（C）」、秋田大学、2009年9月26日～29日

(5) 海外出張・研修、その他の海外での活動

インド（ガンディーの子孫へのガンディーに関するインタビュー調査、インドの学生とのガンディーに関する意見交換、経

済・宗教・文化面等における現代インドの変貌の有り様の調査)、2009年8月11日～9月10日

## 澤 田 真 一

### (1)現在の研究テーマ

ニュージーランド文学におけるポストコロニアル・アイデンティティの形成

### (3)研究発表・講演

#### [研究発表]

澤田 真一「起源の物語としてのPounamu Pounamu」日本ニュージーランド学会第16回研究大会、2009年6月20日、法政大学。

#### [講演]

澤田 真一「クジラの島の少女 親子について考える」鯨ヶ沢子育てサポートセンター、2009年11月28日、日本海拠点館あじがさわ。

## フルート・フォルカー

### (1)現在の研究テーマ

平和研究、平和運動、歴史教育、戦争責任論

### (2)著書・論文ほか

#### [研究ノート、報告書、その他]

「日韓教科書対話の検証」弘前大学人文学部『ナショナリズム研究会報告書第1号』、ナショナリズム研究会2009年3月、27-30頁。

### (3)研究発表・講演

#### [講演]

弘前大学ドリーム講座『平和学とは何か』 青森県立三沢高等学校 2009年9月

### (8)弘前大学人文学部主催の学会・研究会など

ナショナリズム研究会

## 柑 本 英 雄

### (1)現在の研究テーマ

### (2)著書・論文ほか

#### [研究ノート、報告書、その他]

柑本英雄監修、『津軽から発信！ 国際協力キャリアを生きる JICA編』（弘大ブックレットNo.5）弘前大学出版会、2008年12月。

柑本英雄「リージョンへの政治地理学的再接近：スケール概念による空間の混沌整理の試み」、平成18～20年度科研費研究報告書『EUサブリージョンと東アジア共同体 地域ガバナンス間の国際連携モデル構築』、2009年3月。

### (3)研究発表・講演

柑本英雄「北海地域諮問会議の最新動向について」、科研費研究「グローバル時代のマルチ・レベル・ガバナンス EUと東アジアのサブリージョン比較」研究会、2009年6月、早稲田大学。

### (4)学外集中講義

弘前大学ドリーム講座、「世界の現実を知る：国際協力論への誘い」、2009年11月26日、青森県立青森南高等学校。

### (5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動

英国・アバディーン、EU北海地域諮問評議会（NSRAC：North Sea Regional Advisory Council）、インタビュー調査・資料収集、2009年3月。

英国・ピーターヘッド、The Local Dimension To European Maritime Policy, European Maritime Week 2009、基調講演「Findings from Outside」、2009年5月。

オランダ・アムステルダム、EU北海地域諮問評議会（North Sea Regional Advisory Council：NSRAC）年次総会、インタビュー調査・資料収集、2009年10月。

英国・エジンバラ、Inter-RAC Conference “Decision-Making in the Reform of the Common Fisheries Policy”、インタビュー

調査・資料収集、2009年11月。

(6) 科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

平成18年度～平成20年度、基盤研究 (C) 「欧州サブリージョンのグランドデザインに関する比較研究 「領域的結束」 具体化の分析」、研究代表者。

平成18年度～平成20年度、基盤研究 (B) 海外学術、「EU サブリージョンと東アジア共同体：地域ガバナンス間の国際連携モデル構築」、研究分担者。

平成19年度～21年度、基盤研究 (B) 海外学術、「イタリアの国境地域と島嶼地域の “境界領域のメタモルフォーゼ” に関する比較地域研究」、研究分担者。

平成21年度～23年度、基盤研究 (C) 「越層する国際的行為体の研究：自治体による EU 「地域別」 漁業政策の取り組み」、研究代表者。

平成21年度～23年度、基盤研究 (B) 海外学術、「グローバル時代のマルチ・レベル・ガバナンス - EUと東アジアのサブリージョン比較」、研究分担者。

## 城 本 る み

(1) 現在の研究テーマ

中国・台湾の高齢者福祉に関する研究

(2) 著書・論文ほか

[翻訳]

「中国の高齢者概況～『中国城郷老年人口状況一次性抽樣調査数据分析』から」(弘前大学人文社会論叢 社会科学篇第21号 199-222頁)

(5) 海外出張・研修、その他の海外での活動

台湾出張(科研調査) 2009年3月12～17日

中国出張(科研調査) 2009年8月16～27日

台湾出張(科研調査) 2009年9月17～25日

(6) 科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

科学研究費補助金・基盤研究C(平成20～23年度)「台湾の高齢者福祉に関する研究」(研究代表)

## 荷 見 守 義

(1) 現在の研究テーマ

東アジア地域史・中国史・朝鮮王朝史

(2) 著書・論文ほか

[論文]

荷見守義「華重慶の道程 寧波海賊と朝鮮からの帰還」『大阪市立大学東洋史論叢 別冊特集号』大阪市立大学大学院文学研究科東洋史研究室、2009年1月、pp.143 150

荷見守義「都司と巡按 永楽年間の遼東鎮守」『档案の世界(中央大学人文科学研究所叢書46)』中央大学出版部、pp.123 180、2009年3月

荷見守義「『宗藩の海』と冬至使沈通源」『(中央大学)人文研紀要』67号、中央大学人文科学研究所、pp.1 30、2009年9月

[研究ノート、報告書、その他]

荷見守義「チャングムとその時代」『豊泉 弘前大学附属図書館報』NO.30、2009年11月、p.8

(3) 研究発表・講演

[研究発表]

大阪市「宗藩の海 明人華重慶の朝鮮漂着事件によせて」 2009年7月5日 文部科学省科学研究費特定領域研究「東アジアの海域交流と日本伝統文化の形成 寧波を焦点とする学際的創生」国際シンポジウム「東アジア海域における国際交流と政治権力の対応」(大阪市立大)

天理市「冬至使沈通源の北京往還」2009年10月4日 第60回朝鮮学会大会(天理大学)

[講演]

弘前市「銀の世紀と『宗藩の海』」2009年9月12日 平成21年度弘前大学国史研究会大会(弘前大学)

(5) 海外出張・研修、そのほかの海外での活動

8月25日～9月5日 東地中海港市調査 (イスタンブール・アテネ・デロス島・ティラ島・ミュコノス島・デロス島)

(6) 科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

科学研究費補助金基盤研究 (A) (一般) 「近代移行期の港市における奴隷・移住者・混血児 - 広域社会秩序と地域秩序 - 」  
(代表: 弘末雅士) (分担)

(7) 共同研究

中央大学人文科学研究所共同研究チーム「档案の世界」

中央大学人文科学研究所共同研究チーム「情報の歴史学」

## 松 井 太

(1) 現在の研究テーマ

中央アジア出土古代トルコ語・モンゴル語文献の解読研究

モンゴル帝国時代 (13～14世紀) の中央アジア史の再構成

(2) 著書・論文ほか

【論文】

Dai MATSUI, *Dumdadu Mong ol Ulus " the Middle Mongolian Empire "*. In : V. Rybatzki et al. (eds.), *The Early Mongols : Language, Culture and History : Studies in Honor of Igor de Rachewiltz on the Occasion of His 80th Birthday*. Bloomington : Indiana University, 2009.4, pp. 111-119.

Dai MATSUI, Mongol Globalism Attested by the Uigur and Mongol Documents from East Turkestan. 弘前大学人文学部 『人文社会論叢』人文科学篇22, 2009.8, pp. 33-42.

Dai MATSUI, Bezeklik Uigur Administrative Orders Revisited. In : Zhang Dingjing & Abdurishid Yakup (eds.), *Studies in Turkic Philology : Festschrift in Honour of the 80th Birthday of Professor Geng Shimin*, 北京 : 中央民族大学出版社, 2009.11, pp. 339-350.

【研究ノート、報告書、その他】

松井太 (講演録) 「文字文化からみた草原とオアシスの世界」『東洋文化研究』11, 学習院大学東洋文化研究所, 2009.3, pp. 455-478.

Dai MATSUI, Recent Situation and Research Trends of Old Uigur Studies. *Asian Research Trends (New Series)* 4, 2009.3, pp. 37-59.

Dai MATSUI, (Book Review) Michael C. Brose, *Subjects and Masters : Uyghurs in the Mongol Empire*, Western Washington, 2005. *International Journal of Asian Studies* 6-2, 2009.7, pp. 247-249.

(3) 研究発表・講演

Dai MATSUI, Mongol Globalism Attested by the Uigur and Mongol Documents from East Turkestan. 2009年5月30日, The First Congress of the Asian Association of World Historians (Osaka : Osaka University Nakanoshima Center)

Dai MATSUI, Uigur Almanac Divination Fragments from Dunhuang. 2009年9月3日, International Conference : Dunhuang Studies : Prospects and Problems for the Coming Second Century of Research (St. Petersburg : Institute of Oriental Manuscripts, Russian Academy of Science)

(4) 学外集中講義

「シルクロードの歴史と宗教 (A)」岩手大学, 2009年9月8日～9月11日

(5) 海外出張・研修、そのほかの海外での活動

トルコ共和国 : イスタンブール大学において中央アジア出土文書史料の調査 (科学研究費) 2009年2月28日～3月7日

アメリカ合衆国 : プリンストン大学東アジア図書館において中央アジア出土文書史料の調査 (科学研究費) 2009年6月7日～6月11日

(6) 科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

代表「イスタンブール大学所蔵古代ウイグル文書資料の歴史学的研究」三島海雲記念財団学術研究奨励金 (人文科学部門), 2009年度

分担「旅順博物館所蔵非漢文資料の総合的研究」科研費・基盤研究 (B) (代表 : 三谷真澄)

分担「中国新疆のウルムチ・トゥルファン両博物館所蔵非漢文古文書資料の研究」科研費・基盤研究 (B) (代表 : 梅村坦)

(7) 共同研究

「イラン・中国・日本共同によるアルダビール文書を中心としたモンゴル帝国期多言語複合官文書の史料集成」トヨタ財団アジア隣人プログラム (代表 : 四日市康博)

## 足 立 孝

### (1)現在の研究テーマ

中世盛期スペイン・エプロ川流域における城塞集落の形態生成論的研究

### (2)著書・論文ほか

足立孝「遍在する「辺境」 スペインからみた紀元千年 (上)」『人文社会論叢』(人文科学篇) 21号, 2009年, 59-75頁。

足立孝「遍在する「辺境」 スペインからみた紀元千年 (下)」『人文社会論叢』(人文科学篇) 22号, 2009年, 43-62頁。

足立孝「9 - 11世紀ウルジェイ司教座聖堂教会文書の生成論 司教座文書からイエ文書へ, イエ文書から司教座文書へ」『西洋中世研究』第1号, 2009年, 87-105頁。

### (3)研究発表・講演

足立孝「遍在する「辺境」 ガリシアからアルプス山脈まで」西洋中世学会若手支援セミナー「若手研究者が模索する中世像」(京都女子大学, 2009年10月10日)

### (5)海外出張・研修

スペインおよびフランス: アラゴン連合王国文書館, サラゴサ大学図書館, フランス国立図書館(科学研究費) 2008年12月~2009年1月

### (6)科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

代表: 「中世盛期スペイン・エプロ川流域における城塞集落の形態生成論的研究」(文部科学省科学研究費補助金・若手研究(B))

分担: 「西洋中世比較史料論研究」(代表: 岡崎敦, 日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(B)(1))

## ○情報行動講座

## 船 木 洋 一

### (1)現在の研究テーマ

動的計画モデル

## 清 水 明

### (1)現在の研究テーマ

デカルト哲学を中心とする近・現代の哲学  
心の哲学

### (2)著書・論文ほか

[その他]

新聞連載書評エッセイ「あんな本こんな本」

ニコラス・ウェイド著『五万年前』	2008.12	陸奥新報
マーティン・ガードナー著『自然界における左と右』	2009.01	陸奥新報
ブライアン・フェイガン著『古代文明と気候大変動』	2009.02	陸奥新報
旧約聖書『創世記』	2009.03	陸奥新報
キルケゴール著『おそれとおののき』	2009.04	陸奥新報
正岡子規著『歌よみに与ふる書』	2009.05	陸奥新報
ノーバート・ウィナー著『科学と神』	2009.06	陸奥新報
フロイト著『夢判断』	2009.07	陸奥新報
レイモンド・スマリヤン著『哲学ファンタジー』2	2009.08	陸奥新報
ノーバート・ウィナー著『人間機械論』	2009.09	陸奥新報
岡本裕一郎著『12歳からの現代思想』	2009.10	陸奥新報
村上春樹著『風の歌を聴け』	2009.11	陸奥新報



## 奥 野 浩 子

### (1)現在の研究テーマ

英語の構文研究      日本語・韓国語・英語の対照研究  
日本と韓国の英語教育比較

## 作 道 信 介

### (1)現在の研究テーマ

近代化の社会心理学

### (2)著書・論文ほか

作道信介 2009 「文化と社会心理学：「ねだられた」民族誌家（エスノグラファー）」 細江達郎・菊池武克（編著）『新訂 社会心理学特論』 放送大学教育振興会 pp.54-74.

作道信介 2009 「交渉・治療儀礼・占い：北西ケニア・牧畜民トゥルカナにおける問題対処」 細江達郎・菊池武克（編著）『新訂 社会心理学特論』 放送大学教育振興会 pp.162-176.

作道信介 2009 「社会変動と身体：「糞肛門」の出現」 細江達郎・菊池武克（編著）『新訂 社会心理学特論』 放送大学教育振興会 pp.177-191.

作道信介 2009 「ヘルスケア・システム」 日本社会心理学会（編）『社会心理学事典』丸善株式会社 pp.170-171

### (3)研究発表・講演

作道信介 <ホールド (hold) >としての出稼ぎ：大間町における生活史調査から 東北心理学会第63回大会 6月20日、21日 於弘前大学

作道信介 <ホールド (hold) >としての出稼ぎ：故郷をつくり人を留め置く力 第53回日本社会心理学会公開シンポジウム <近代化の社会心理学>移動の人生・故郷の力：日本の戦後を等身大に生きる 7月18日 於アイーナ（盛岡）

作道信介 <健康と病気の社会心理学>ケニア・牧畜民トゥルカナの病気対処 平成21年度弘前大学公開講座 10月17日 於つがる市生涯学習交流センター

作道信介 表象としての「津軽」 弘前大学人文学部・津軽に学ぶ会主催 「津軽学 汝を愛し、汝を憎む、太宰的なものを問う」 11月9日 於弘前大学創立50周年記念会館みちのくホール

作道信介 「『糞肛門』の出現：北西ケニア牧畜民トゥルカナ、干ばつを身体化する」 東京外国語大学アジア・アフリカ言語研究所・文化動態ユニット・第4回研究会 12月3日 於AA研小会議室

### (4)学外集中講義

岩手県立大学社会福祉学部専門基礎科目 平成21年度「文化人類学」9月24日～27日

### (5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動

ケニア・英国出張：8月9日～9月19日（基盤研究A「アフリカ牧畜社会におけるローカル・プラクティスの復権／活用による開発研究の新地平」による）

### (6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

基盤研究C「地域を形成し、人を留め置く力」<ホールド>の実証研究 - 「津軽の人生」調査（代表・作道信介）

### (7)共同研究

基盤研究A「アフリカ牧畜社会におけるローカル・プラクティスの復権／活用による開発研究の新地平」（代表・太田至）

## 内 海 淳

### (1)現在の研究テーマ

最適性理論  
コンピュータ的教育利用

### (2)著書・論文ほか

#### [著書]

内海 他 著 『オープンソースソフトウェアによる情報リテラシー』 共立出版

## 曾 我 亨

### (1)現在の研究テーマ

東アフリカ牧畜社会における民族問題や難民問題、資源をめぐる競合などについて考えています。またオーストラリアの先住民研究との対比において、アフリカにおける先住民言説の誕生についても考え始めています。

### (2)著書・論文ほか

#### [論文]

曾我亨2009「感知される「まとまり」：可視化される「集団」と不可視の「範疇」の間」河合香吏編『集団：人類社会の進化』東京外国語大学アジアアフリカ言語文化研究所

### (3)研究発表・講演

「The Primogeniture and the Camel Trust System of the Gabra, Cushitic Pastoralist in Northern Kenya」『Social significance of animals in nomadic pastoral societies of the Arctic, Asia and Africa』東北大学東北アジア研究センター、2009年5月16・17日

「飽くなき食への希求をめぐる」第4回人類学関連学会協議会合同シンポジウム企画（於国立民族学博物館）2009年5月29日

### (5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動

エチオピア連邦民主共和国において、牧畜社会の稀少資源をめぐる競合に関するフィールド調査、2009年2月8日～3月5日

エチオピア連邦民主共和国において、牧畜社会の稀少資源をめぐる競合に関するフィールド調査、2009年8月4日～9月4日

### (6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

科学研究費補助金・基盤研究C（研究代表者）『東アフリカ牧畜社会における「稀少資源をめぐる競合」ドグマの人類学的再検討』

科学研究費補助金・基盤研究B（研究分担者）『「マイクロサッカーとしての在来知」に関する人類学的研究』

科学研究費補助金・基盤研究A（研究分担者）『「先住民」のアイデンティティの交渉』

科学研究費補助金・基盤研究A（連携協力者）『アフリカ牧畜社会におけるローカル・プラクティスの復権／活用による開発研究の新天地』

### (7)共同研究

国立民族学博物館共同研究（松井健代表）『生業活動と生産構造の社会的布置の研究』

東京外国語大学AA研（河合香吏代表）『人類社会の進化史的基盤研究』

## 羽 淵 一 代

### (1)現在の研究テーマ

若者の移動労働と親密性

ケニアにおける牧畜民のメディア利用と親密性

### (5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動

2009年8月～9月 ケニア調査「平成19年度 - 21年度日本学術振興会科学研究費補助金（若手B）」『モバイルメディア急速普及過程が社会関係と社会秩序に及ぼす影響に関する社会学的研究』（研究代表者：羽淵一代）

### (6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

平成19年度 - 21年度日本学術振興会科学研究費補助金（若手B）」『モバイルメディア急速普及過程が社会関係と社会秩序に及ぼす影響に関する社会学的研究』（研究代表者：羽淵一代）

日本経済研究奨励財団 「観光村を支える若年労働者のライフスタイル」（研究代表者：羽淵一代）

## 大 橋 忠 宏

### (1)現在の研究テーマ

地域間交通における運輸施設の効率的配置

交通施設整備や交通政策が地域経済に与える効果の計測方法の開発

(2) 著書・論文ほか

[論文]

大橋忠宏 (2009), 「弘前市の交通実態と乗合バスサービスの現状と課題」, 『人文社会論叢』社会科学編第21号, pp. 1-27.

(6) 科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

大橋忠宏 (代表) 「ネットワークを考慮した航空政策評価の実証研究」, H21年度～(H23年度予定) 科学研究費補助金 (若手研究 (B)), 課題番号: 21730216)

## 石 黒 格

(1) 現在の研究テーマ

都市度とパーソナル・ネットワークの同類性

地方出身の若者の地域移動

(2) 著書・論文ほか

[研究ノート、報告書、その他]

李永俊・石黒格・山口恵子 「都市に暮らす地方出身の若者の就業状況と地元意識に関する調査研究」 弘前大学人文学部附属雇用政策研究センター (1、4、5章を担当)

(3) 研究発表・講演

石黒格「地域移動による若者の進学・就職・転職のパフォーマンス」第47回数理社会学会大会ポスター発表

石黒格「日本におけるネットワークの同質性：心理変数を用いた下位文化仮説の検討」日本社会心理学会第50回大会・日本グループ・ダイナミクス学会第56回大会合同大会 ポスター発表

(7) 共同研究

李永俊・山口恵子と共同で、地方出身の若者の仕事と生活について調査している。

## 増 山 篤

(1) 現在の研究テーマ

部分地区の空間的連担性および均質性を保証する地区区分方法に関する研究

高齢者居住密度と周辺施設までの近接性の関係の分析

居住と施設アクセシビリティの相互依存関係を分析する方法に関する研究

(2) 著書・論文ほか

[論文]

増山 篤 (2008) 「高齢者居住と医療機関までの距離との関係 - 都道府県レベル集計データを用いた統計的分析 - 」, 日本不動産学会誌, 22 (3), 114-125

増山 篤 (2009) 「都市計画およびその周辺分野における地域区分方法」, 都市計画報告集, 8 (2), 106-113

(3) 研究発表・講演

矢田 尚子, 増山 篤 (2009) 「高齢者専用賃貸住宅におけるサービスの質をめぐる現状と課題」, 日本不動産学会学術講演梗概集, 25, 153-160

増山 篤 (2009) 「空間的連担かつ最大限均質な部分地域への地域区分となるための必要条件」, 日本地理学会発表要旨集, 73, (pp.) 112

(6) 科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

科学研究費補助金「等質地域への地域区分を行う空間分析法の開発」(若手B)(平成21～23年度)(研究代表者)

## ○ビジネスマネジメント講座

## 四 宮 俊 之

(1) 現在の研究テーマ

企業経営における提示、提案型での消費や需要の創出プロセスの経営史的研究

経営史研究での次なる視差の構築をめぐる

りんごの消費や需要の創出をめぐる歴史文化的研究

(2) 著書・論文ほか

報告書『中南部地域における産業クラスターによる地域活性化に関する調査』人文学部付属雇用政策研究センターにおける高山貢、岩田 哲、高島克史、小谷田文彦との共著 青森県中南部地域県民局、2009（平成21）年3月

(3) 研究発表・講演

四宮俊之「経営史研究における次なる視差をめぐって」経営史学会第2回東北ワークショップ、2009（平成21）年9月12日、於・弘前大学人文学部

(4) 学外集中講義

「経営史」青森公立大学、2009年秋季期

「仕事、企業活動、経営について」弘前大学出張講義・青森南高等学校、2009（平成21）年1月21日

「お金を儲けるって、どのようなこと」弘前大学ドリーム講座・田名部高等学校、2009（平成21）年7月15日

(7) 共同研究

弘前大学人文学部付属雇用政策センター研究員

弘前大学農生学部付属りんご振興研究センターでの共同研究に参加

明治大学イノベーション研究所客員研究員として「地域企業のイノベーション研究」参加

## 保 田 宗 良

(1) 現在の研究テーマ

サービスマーケティングの視点からの医療マーケティング研究の再検討  
海外ドラッグストアのマーケティング戦略の実態分析

(2) 著書・論文ほか

【論文】

「医療マーケティングと医療消費者に関する若干の考察」日本消費経済学会年報第30集、日本消費経済学会、3月、pp.15-21  
「研究ノート」

「OTC流通の変革動向についての論点整理」人文社会論叢（社会科学篇）22号、8月、pp.105-112

(3) 研究発表・講演

「研究発表」

改正薬事法に伴う医薬品流通の変革についての考察、日本消費経済学会東日本大会、於 中央学院大学、6月27日

改正薬事法に伴う医薬品流通とセルフメディケーションに関する考察、日本消費経済学会全国大会、於 日本大学、10月11日

「公開講座」

東北公益文科大学大学院特別セミナー（企業経営）、11月2日、11月15日

(5) 海外出張・研修、そのほかの海外での活動

インドネシア共和国 12月20日 - 23日

中華人民共和国 2月27日 - 3月1日

マレーシア 7月30日 - 8月3日

フィリピン共和国 9月11日 - 13日

(7) 共同研究

鍛冶町・鍛造刃物産業構築「津軽内刃物」ブランド展開プロジェクト、弘前商工会議所

弘前地域資源「木材加工ブランド化戦略」プロジェクト、弘前商工会議所

## 森 樹 男

(1) 現在の研究テーマ

多国籍企業における地域統括本社・海外子会社の研究

北欧における産学官連携と地域経済活性化に関する研究

(2) 著書・論文ほか

【論文】

森樹男「地域経済活性化と多国籍企業」『弘前大学経済研究』第31号、2008年12月、pp.28 - 43。

Mori, Tatsuo, "Rural Area in Japan: Two cases of promoting regional development through tourism in Aomori prefecture", Sari Soini(ed.), *Effective Rural and Urban Innovation Policies International Conference in Seinäjoki 5.-6.2.2009*, Ruralia Institute,

University of Helsinki, Reports 46.

(3) 研究発表・講演

Mori, Tatsuo, "Rural Area in Japan : Two cases of promoting regional development through tourism in Aomori prefecture", Ruralia Institute, University of Helsinki, 2009.2.6, Seinäjoki-hall, Seinäjoki, Finland

森樹男「東北新幹線全線開業に向けて」西・つがる地区商工会女性部連絡協議会新年会（西・つがる地区商工会女性部連絡協議会主催），2009年1月21日，鯉ヶ沢町水軍の宿

森樹男「観光による“ふるさとプロデュース”」，あomoritourism人づくり大学はやて（弘前大学・青森県主催），2009年6月25日，於 弘前大学

(4) 学外集中講義

岩手大学・弘前大学（北東北国立三大学連携講義）、「商業とまちづくり」「北東北における観光と地域振興」（2009年9月17日）

(5) 海外出張・研修、そのほかの海外での活動

2009年2月3日～8日 セイナヨキ（フィンランド）

2009年3月16日～22日 トロンヘイム（ノルウェー）

(6) 科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

平成21年度産学連携人材育成事業 起業家人材育成モデル講座（経済産業省）

## 柴 田 英 樹

(1) 現在の研究テーマ

環境会計の再構築、環境会計の金額化の研究

粉飾決算と監査風土の研究

国際会計の研究

(2) 著書・論文ほか

〔著書〕

『進化する環境会計第2版』（共著）、中央経済社、2009年7月、担当部分182頁。

〔論文〕

「財務諸表監査の目的観の変遷」、弘前大学経済研究第31号、2008年12月、1-15頁。

「最近の不正決算から学ぶ不正の手口と法制度の有効性」、人文社会論叢（社会科学篇）第21号、2009年2月、19-40頁。

「内部統制監査と不正摘発防止監査との関係」、人文社会論叢（社会科学篇）第22号、2009年8月、1-18頁。

〔研究ノート、報告書、その他〕

「会計基準から見た税制改正「リース取引に関する会計基準」の改正と税制改正（上、下）」、国税速報第6053号、6055号、大蔵財務協会、2009年2月、2009年3月。

「5分でわかる最新の会計学No.1～No.25」、国税速報、大蔵財務協会、2008年9月～（現在、継続中）

(3) 研究発表・講演

「粉飾の本質」、2008年度第2回日本産業科学学会関東部会研究発表、於長岡科学技術大学、2009年3月14日。

「粉飾の本質」、2009年度第15回日本産業科学学会全国大会研究発表、於中村学園大学、2009年8月29日。

## 嶋 恵 一

(1) 現在の研究テーマ

設備投資の断続性

調整費用に関する実証分析

(3) 研究発表・講演

「投資の調整費用」（研究発表）、景気循環・経済成長の総合研究（浅子和美代表）：景気循環日付研究会夏季コンファレンス、平成21年9月。

## 加 藤 恵 吉

(1) 現在の研究テーマ

無形資産の価値評価

## 国際課税

### (2) 著書・論文ほか

#### [論文]

「移転価格税制の変遷～その2～ - 無形資産取引の増大と米国 I R C 482条の改正プロセスを中心に - 」『人文社会論叢 社会科学編』第21号、59 - 77頁、2009年2月

### (3) 研究発表・講演

#### [研究発表]

「インタンジブルに関する実証研究の推移と方向性」2009年11月21日、日本会計研究学会東北部会秋期大会、於 ラ・ブラス青い森（青森市）

### (7) 共同研究

「インタンジブルに関する実証研究の方向性」加藤、大沼（東京理科大）

「租税状況とコーポレート・ガバナンスの関係性」大沼、櫻田（北海道大）、加藤

## 中 村 文 彦

### (1) 現在の研究テーマ

退職給付会計

国際会計

会計選択

### (2) 著書・論文ほか

#### [論文]

中村文彦「退職給付会計の変化」『会計』第176巻第5号、2009年11月。

#### [研究ノート、報告書、その他]

ジョージ・J・ベンストン、マイケル・ブロムウィッチ、ロバート・E・ライタン、アルフレッド・ワーゲンホファー著、川村義則・石井明監訳、上田晋一、山内暁、赤塚尚之訳『グローバル財務報告』中央経済社、2009年。（第9章翻訳担当）

## 金 藤 正 直

### (1) 現在の研究テーマ

環境サプライチェーン・マネジメントを支援する会計情報システムに関する研究

バイオマス政策・事業プロセスを対象にした総合評価モデルに関する研究

情報セキュリティ・マネジメントを支援する会計モデルに関する研究

林業・農業における会計システムに関する研究

### (2) 著書・論文ほか

#### [著書]

「米国におけるSFAS第143号公表前後の影響分析」河野正男・上田俊明・八木裕之・村井秀樹・阪智香編著『環境財務会計の国際的動向と展開』森山書店、2009年11月（128-135頁）。

「日本企業における資産除去債務処理に関する現状分析」河野正男・上田俊明・八木裕之・村井秀樹・阪智香編著『環境財務会計の国際的動向と展開』森山書店、2009年11月（152-156頁）。

### (3) 研究発表・講演

「青森県藤崎町のバイオマスタウンを対象にしたバイオマス政策・事業評価モデルの展開」第4回日本LCA学会研究発表会（於：北九州国際会議場）、2009年3月。

「林業における原価計算モデルの構築 - 兵庫県の丹波市森林組合における伐採・搬出を事例として - 」日本会計研究学会第68回大会（於：関西学院大学）、2009年9月。

「青森県中南部地域のバイオマス事業を対象とした環境会計モデルの構想」環境経済・政策学会2009年大会（於：千葉大学）、2009年9月。

### (4) 学外集中講義

「長野県飯田市の自然エネルギー事業」広島修道大学学術講演会（於：広島修道大学）、2009年11月。

「環境モデル都市：長野県飯田市」広島修道大学重点研究領域シンポジウム（於：広島修道大学）、2009年11月。

### (6) 科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

文部科学省 科学研究費補助金 若手研究B（研究代表者）『森林の機能・価値を考慮した木質バイオマス事業評価システム

の構築方法。(2009年度～2011年度)。

日本学術振興会 科学研究費補助金 若手研究スタートアップ(研究代表者)『木質バイオマスエネルギー事業導入支援のための環境会計情報システムの構築』(2007年度～2008年度)。

環境省 地球環境研究総合推進費(研究分担者)『バイオマスを高度に利用する社会技術システム構築に関する研究』(2008年度～2010年度)。

## 高 島 克 史

### (1)現在の研究テーマ

ベンチャー企業の経営戦略に関する研究

産業クラスターの形成プロセスに関する研究

### (2)著書・論文ほか

#### [論文]

「ベンチャー企業の成長モデルに関する考察」弘前大学人文学部『人文社会論叢』(社会科学篇)第21号、2009年2月

#### [研究ノート、報告書、その他]

「中南地域における産業クラスターによる地域活性化に関する調査」(人文学部付属雇用政策研究センターにおける高山貢、四宮俊之、岩田一哲、小谷田文彦との共著)青森県中南地域県民局、2009(平成21)年3月

### (3)研究発表・講演

「産業クラスターの形成」第34回弘前大学経済学会大会、2009年10月24日、於：弘前大学

### (6)科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

平成21年度産学連携人材育成事業 起業家人材育成モデル講座(経済産業省)

### (7)共同研究

弘前大学人文学部付属雇用政策センター研究員

## 岩 田 一 哲

### (1)現在の研究テーマ

コミットメントとモチベーションの関係の理論的研究

過労死・過労自殺者の心理的要因の探索

### (2)著書・論文ほか

#### [著書]

岩田一哲「第3章 社会心理学の視点によるマネジャーの仕事」青木幹喜編著『人と組織を生かす経営管理論』八千代出版、2009年4月25日。

岩田一哲「第12章 モチベーション」青木幹喜編著『人と組織を生かす経営管理論』八千代出版、2009年4月25日。

#### [論文]

岩田一哲「過労死・過労自殺と職務上の出来事との関係の分析」『弘前大学経済研究』第31号、pp.16-27、2008年12月28日。

河野良治・岩田一哲「起業家教育についての一考察 - 中核人材へのコンピテンシー論アプローチ - 」『高松大学紀要』第51号 pp.37 - 64 (3, 5, 6を担当)、2009年2月28日。

#### [研究ノート、報告書、その他]

高山貢・四宮俊之・小谷田文彦・岩田一哲・高島克史「中南地域における産業クラスターによる地域活性化に関する調査」青森県中南地域県民局(1, 3-3, 3-4, 6-1, 6-3, 6-4, 7を担当)、2009年3月23日。

### (3)研究発表・講演

岩田一哲「過労死・過労自殺の心理的要因と職務状況との関係」『労務理論学会第19回全国大会』(於：駒澤大学)、2009年7月18日。

### (4)学外集中講義

放送大学面接授業「会社の中でどう生きるか」(於：青森学習センター、5月23日～5月24日)

### (5)海外出張・研修、そのほかの海外での活動

Carpenter Victor Lee・佐々木純一郎・岩田一哲「先進教育研究推進事業における視察調査のため」(2009年3月3日～3月9日)

## ○経済システム講座

中 澤 勝 三

(1)現在の研究テーマ

西洋近代経済史と近代世界システム  
海からの歴史  
近代前期アントウエルペン史とオランダ反乱

(2)著書・論文ほか

[研究ノート、報告書、その他]

翻訳 ヤン・デニユセ『アントウエルペンのアフリカ交易』(1)『第6章「アフリカ植民地市場としてのアントウエルペン」』、弘前大学『人文社会科学論叢』第21巻(社会科学編)、2009年3月、223-234ページ。

(8)弘前大学人文学部主催の学会・研究会など

弘前大学オープン・キャンパス模擬講義「世界経済と日本の課題」2009.8.7.  
弘前大学経済学会第34回大会会長挨拶 於 弘前大学 2009.10.24.

赤 城 国 臣

(1)現在の研究テーマ

ケインズ経済学の研究

(2)著書・論文ほか

[研究ノート、報告書、その他]

「景況展望 今こそ官民一体で」(陸奥新報、2009.1.1)

鈴 木 和 雄

(1)現在の研究テーマ

資本蓄積論、労働過程論

(2)著書・論文ほか

[論文]

鈴木和雄「接客労働の統制方法」『経済理論』(経済理論学会)第45巻第4号、2009年1月20日、78-87頁。

鈴木和雄「接客サ・ビス労働過程論の展望」『季報・唯物論研究』(『季報・唯物論研究』刊行会)第109号、2009年8月31日、71-81頁。

[書評]

鈴木和雄「岡本英男著『福祉国家の可能性』(東京大学出版会、2007年)」『社会政策』(社会政策学会)第1巻第3号、2009年9月25日、141-144頁。

(3)研究発表・講演

弘前大学ドリーム講座「経済を考える、経済学を学ぶ」、於弘前中央高等学校、2009年8月18日。

(8)弘前大学人文学部主催の学会・研究会など

弘前大学経済学会第34回大会、2009年10月24日。

黄 孝 春

(1)現在の研究テーマ

中国における外資政策の変化と日系企業の対応  
リンゴ産業におけるピンクレディー・システム(会員制)の実態

(2)著書・論文ほか

[著書]

第7章「ビール産業の急成長・業界再編と外国資本の役割」今井健一編著『中国 産業高度化の潮流』アジア経済研究所、2008年12月

第7章「総合商社における中国ビジネスの進化」渡辺利夫・21世紀政策研究所監修、杜進編『中国の外資政策と日系企業』



勁草書房、2009年9月

(3)研究発表・講演

2009年6月25日青森県農業経営支援事業発表会「知的所有権に基づく農産物のブランド戦略 ピンクレディーの事例を中心に」

(5)海外出張・研修、その他の海外での活動

青森県農水産物輸出促進協議会主催 青森産リンゴの中国輸出事情視察、2009年1月13日 - 18日  
中国青島農業大学で開催される農業合作社国際シンポジウムに出席、2009年9月21日 - 27日

(7)共同研究

明治大学イノベーション研究所の研究プロジェクト「地域企業のイノベーション」に参加  
農学生命学部りんご振興研究センターが主催されるセミナー、研究会に参加

## 細 矢 浩 志

(1)現在の研究テーマ

E U統合進展下の欧州自動車産業の変容について

(2)著書・論文ほか

[論文]

「拡大E Uペリフェリ域自動車産業の新展開」『人文社会論叢（社会科学篇）』（弘前大学）第21号、2009年2月  
「変貌する中東欧自動車産業 - FDI主導の産業再編と欧州生産ネットワークの形成 - 」『ロシア・ユーラシア経済 研究と資料』（ユーラシア研究所）第919号、2009年2月

[研究ノート、報告書、その他]

報告書「スロバキア・トルコ自動車産業の概要及び今後の展望」日本工作機械工業会『新興経済発展地域における欧州工作機械メーカーの市場戦略に関する調査研究・報告書』2009年3月

(3)研究発表・講演

講演「スロバキア・トルコ自動車産業の概況と今後の展望について」日本工作機械工業会・国際委員会、2009年3月17日:愛知県犬山ホテル

(4)学外集中講義

山形大学人文学部「経済政策論（後期）」2009年1月  
山形大学人文学部「経済政策論（前期）」2009年9月

(6)科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

科研費 基盤研究（C）「EUの東方拡大にともなう欧州自動車産業の生産分業再編に関する実証研究」

(8)弘前大学人文学部主催の学会・研究会など

弘前大学経済学会・編集委員会

## 福 田 進 治

(1)現在の研究テーマ

リカードの経済理論の研究

(2)著書・論文ほか

[報告書]

「アダム・スミスの国家論の射程 - 「小さな国家」論の再検討 - 」『ナショナリズム研究会報告書』第1号、23-26頁、2009年3月31日刊行

(3)研究発表・講演

[研究発表]

「Early Ricardo Studies in Japan」、第16回リカードウ研究会、東京・中央大学、2009年3月7日  
「Early Ricardo Studies in Japan」、2nd Joint Conference ESHET-JSHET、京都・京都大学、2009年3月24日

[討論]

「スラッファによるハイエク批判について」（報告者 下平裕之）、第23回経済思想研究会、宮城・東北工業大学、2009年4月26日

「社会保障の現状・歴史・未来」（報告者 小峯敦）、第24回経済思想研究会、宮城・東北工業大学、2009年8月8日

(4) 学外集中講義

[出張講義]

「経済思想と現代 - 大きな政府と小さな政府 -」、平成21年度弘前大学ドリーム講座、青森・青森南高校、2009年11月26日

(8) 弘前大学人文学部主催の学会・研究会など

第30回経済学史学会東北部会例会、宮城・東北学院大学、2009年4月26日

## 小谷田 文彦

(1) 現在の研究テーマ

海外直接投資、自由貿易協定の経済分析

地域活性化と産官学連携の経済分析

(2) 著書・論文ほか

[研究ノート、報告書、その他]

“The Role of Japanese Public sector to Promote SME and Rural Areas in Japan.” Fumihiko KOYATA, Effective Rural and Urban

Innovation Policies International Conference in Seinäjoki 5. 6.2.2009, Ruralia Institute, University of Helsinki, Report46, 38-40,

『中南地域における産業クラスターによる地域活性化に関する調査』高山貢・四宮俊之・小谷田文彦・岩田一哲・高島克史、青森県中南地域県民局、2009、

『南地域における産業クラスターによる地域活性化に関する調査報告書』高山貢・四宮俊之・小谷田文彦・岩田一哲・高島克史、弘前大学地域共同研究センター、2009、

(3) 研究発表・講演

「CGE モデルにおける政策評価の現実妥当性について」小谷田文彦、東北大学経済学会（10月3日、山形大学）

“The Role of Japanese Public sector to Promote SME and Rural Areas in Japan.” Effective Rural and Urban Innovation Policies International Conference in Seinäjoki 5. 6.2.2009, Ruralia Institute, University of Helsinki

(5) 海外出張・研修、その他の海外での活動

2009年10月19日から27日 フィンランド共和国

2009年9月2日から10日 フィンランド共和国

2009年5月11日から15日 ポーランド共和国

2009年3月16日から22日 ノルウェー王国

2009年1月30日から6日 フィンランド共和国

(6) 科学研究費補助金、その他の競争的研究資金など

資金制度名：学術国際振興、基金期間：平成20年度、研究課題名：「産官学連携による地方都市経済再生の研究～北欧地方都市の事例を参考に～」、研究代表者：森樹男、研究分担者：小谷田文彦、研究経費：3,000千円

資金制度名：青森県中南地域県民局からの受託研究期間：平成20年度、研究課題名：「中南地域における産業クラスターによる地域活性化に関する調査」、研究代表者：高山貢、研究分担者：四宮俊之、小谷田文彦、岩田一哲、高島克史、研究経費：966千円

## 飯島 裕胤

(1) 現在の研究テーマ

企業の資金調達に関する理論分析

企業買収、買収防衛策の経済分析

(2) 著書・論文ほか

[論文]

飯島裕胤（2008）「ステークホルダーの利益保護に対する現経営陣と買収者の行動の差異」『応用経済学研究』、第2号、1-17頁（査読有）

飯島裕胤（2009）「人的資産レント保護と企業買収防衛策」『弘前大学人文社会論叢（社会科学編）』、第22号、19-34頁（査読無）

(3) 研究発表・講演

[研究会報告]

飯島裕胤「予備的資金調達とマーケット・タイミング」、景気循環日付研究会（八戸コンファレンス）、2009年9月4日、ウェルサンピア八戸にて

[学会指定討論]

飯島裕胤「萩原史朗報告：従業員重視のコーポレート・ガバナンスはどのような場合に有効か？」に対する指定討論、日本応用経済学会、2009年11月23日、神戸大学にて

李 永 俊

(1)現在の研究テーマ

若年者の雇用問題  
地域間労働移動問題  
地域の雇用問題

(2)著書・論文ほか

[研究ノート、報告書、その他]

石黒格・李永俊・山口恵子（2009）「都市に暮らす地方出身の若者の就業状況と地元意識に関する調査研究」弘前大学人文学部附属雇用政策研究センター報告書、No.4。  
李永俊・石黒格・山口恵子（2009）「都市に暮らす地方出身の若者の就業状況と地元意識に関する調査研究」『れぞおん青森』Vol.31, No.366

(3)研究発表・講演

「青森県の現状と課題」『非正規雇用を考えるシンポジウム』、青森県・青森県労働協会主催、2009年11月4日、6日、20日、於青森市、弘前市、八戸市

(7)共同研究

「最初の仕事現在の就業状態および賃金に及ぼす影響」青森公立大学との共同研究  
「青森県の経済成長と生産性向上の要因分析」弘前大学雇用政策研究センター・青森銀行共同研究  
「労働移動から考える地域間雇用格差」弘前大学雇用政策研究センター内共同研究

## ○公共政策講座

堀 内 健 志

(1)現在の研究テーマ

『憲法理論研究』の出版  
司法による憲法内容の深化・具体化について  
ベッケンフェルデ後の憲法学

(2)著書・論文ほか

[論文]

「現代日本法における『立法』『統治』概念（その二）」『弘前大学大学院地域社会研究科年報』5号（弘前大学地域社会研究科、2008年12月）99-109頁  
「政令の所管事項」ジュリスト増刊『憲法の争点』（大石眞・石川健治編 有斐閣、2008年12月）238-239頁  
「『憲法』概念と憲法学（三・完）- 法的憲法と政治的憲法という言い方の比喻性」『弘前大学人文社会論叢（社会科学篇）』21号（2009年2月）109-127頁  
「最近の憲法学の動向と問題点 - 伝統的公法学研究者からの弁明（その一）」『弘前大学人文社会論叢（社会科学篇）』22号（2009年8月）113-125頁  
「『国民主権』と『人民主権』 - 杉原泰雄著『憲法と国家論』を読む」『青森法政論叢』10号（青森法学会・学会誌、2009年8月）53-60頁

(4)学外集中講義

法学（弘前福祉短期大学）

村 松 恵 二

(1)現在の研究テーマ

ヨーロッパ極右のイデオロギーと心理

(2) 著書・論文ほか

[研究ノート、報告書、その他]

「ナショナルな価値と普遍的価値」『未来』2009年3月号

## 山下 祐 介

(1) 現在の研究テーマ

社会学（地域社会学・農村社会学・都市社会学・環境社会学・災害社会学・社会理論）

(2) 著書・論文ほか

[著書・編書]

山下祐介『リスク・コミュニティ論——環境社会史序説』2008年12月、弘文堂。

菅磨志保・山下祐介・渥美公秀編『災害ボランティア論入門』2008年12月、弘文堂。

[論文・報告書]

「水の流れと地域の歴史 浅瀬石川・垂柳遺跡・田舎館・大曲堰」2008年12月、『津軽学』第4号、156-163頁、津軽に学ぶ会。

「リスク・コミュニティ論序説」2009年3月、『地域防災研究論文集』第2巻、99-110頁、地域防災研究会。

「リスクと地域資源——リスク・コミュニティ論序説」2009年5月『西日本社会学会年報』第7号（特集：リスクとソーシャルキャピタル）、3-15頁、西日本社会学会。

「白神山地の森と人の共生——津軽ダムに沈む、砂子瀬・川原平によせて」『白神山地ビジターセンターだより』No.16、2009年夏の号。

「家の継承と集落の存続——青森県・過疎地域の事例から」2009年10月、日本村落研究学会監修 秋津元輝編『【年報】村落社会研究』第45号、163-197頁、農山漁村文化協会。

[報告書、その他]

< 報告書 >

『平成20年度青森県市町村・地域づくり団体等協働モデル事業 鰯ヶ沢町地域づくり研修会報告書』2009年2月、鰯ヶ沢町町内会連絡協議会・鰯ヶ沢町・弘前大学人文学部社会学研究室。

『下北地域の人口減少社会及び地域コミュニティに係る調査業務委託調査報告書』2009年3月、下北地域県民局、1-106頁。

『弥生いこいの広場隣接地利活用方策検討事業 報告書』2009年10月、弘前大学人文学部・弘前市。

< その他 >

「端っこには端っこの近代化がある」、『津軽学』第4号、22-26頁、津軽に学ぶ会、2008年12月。

「鼎談 津軽、近代化のダイナミズム」、『津軽学』第4号、30-38頁、津軽に学ぶ会、2008年12月。

「ここに生きる ふるさと再考」東奥日報、2009年1月～（協力、第4部執筆）

「でっこの会だより」朝日新聞青森版、2009年2月～

『平尾魯仙が歩いた目屋溪 西目屋村制120周年記念誌』西目屋村 2009年9月13日。

(3) 研究発表・講演

「鰯ヶ沢町の現状と課題について～過疎・高齢化・限界集落問題を中心に」2008年12月13日、鰯ヶ沢町山村振興センター、鰯ヶ沢町地域づくり研修会。

「防災とボランティアのつどい」2009年1月21日、内閣府、国立オリンピック青少年総合センター。

「ふるさとがなくなる？～鰯ヶ沢町の未来を考える」鰯ヶ沢の未来を拓く会、舞戸公民館、2009年2月28日。

「災害ボランティア山古志円卓会議 阪神・淡路大震災から14年、中越震災から5年、災害ボランティアの到達点（可能性と課題）を語る」2009年3月2日、山古志ロータリーハウス。

「シンポジウム ふるさは消えるか」2009年3月13日、弘前市立観光館。

「山村を見る目・北方を見る目 津軽ダム水没 西目屋村砂子瀬・川原平集落の記憶から」朝日新聞青森版連載「でっこの会だより」講演会、2009年3月14日、弘前大学人文学部視聴覚ルーム。

「限界集落をめぐる世代・家族・ふるさと」第53回日本社会心理学学会公開シンポジウム、＜近代化の社会心理学＞移動の人生・故郷の力／日本の戦後を等身大に生きる、盛岡西口アイーナ、2009年7月18日。

「人口減少社会ってどういうこと？～人口減少社会に向けて考えてみませんか～限界集落問題から見る下北の展望」むつ市大畑公民館、2009年8月27日、下北地域県民局。

「歩兵第五連隊・青森駐屯地と青森市の市街地発展～津軽の都市形成史一断章～」平成21年度社会科地域教材開発講座現地研修、2009年9月2日、青森県総合学習教育センター。

「戦後日本社会の世代と移動 過疎・過密の生成と帰結」2009年度第27回日本都市社会学会大会シンポジウム 世代と移

動の都市社会学——戦後日本の地域社会変動を読み解く、2009年9月13日、県立広島大学。

「鯉ヶ沢町の過疎高齢化と地域再生～ふるさとがなくなる？」平成21年度東京鯉ヶ沢会、浅草ビューホテル、2009年10月25日。

「公開講座 津軽学 太宰治的なものを問う 汝を愛し、汝を憎む」2009年11月9日、弘前大学50周年記念会館みちのくホール、弘前大学人文学部・津軽に学会。

「津軽山村の歴史とその移り変わり」白神山地を知る講演会、白神山地ビジターセンター、2009年11月15日。

「弥生リゾート跡地 その歴史と今後の利活用について」弥生いこいの広場隣接地利活用方策検討事業報告書報告会、弘前市、2009年11月26日、中央公民館岩木館2階大ホール。

(7)学外との共同研究・学外活動など

岩木川・馬淵川・白神山地に関する研究

国土交通省馬淵川学識経験者懇談会委員

国土交通省岩木川河川整備委員会委員

青森県環境審議会委員

青森県の都市計画・過疎問題・交通問題に関する研究

青森県都市計画マスタープラン策定委員会委員

青森県過疎対策研究会委員（2008年12月まで）

弘前市総合計画進行管理アドバイザー

平川市公共交通協議会委員

NPO法人ひらかわマイバスの会理事

NPO法人白神共生機構代表 ほか

(8)学会活動

日本都市社会学会（企画委員）ほか

## 児 山 正 史

(1)現在の研究テーマ

地方自治体の行政評価・政策評価と総合計画

(2)著書・論文ほか

【論文】

「愛知県一宮市のまちづくり指標と総合計画策定 - 自治体行政における社会指標型ベンチマーキングの活用 - 」、『人文社会論叢（社会科学篇）』、第21号、pp.135-160

「三重県伊賀市・愛知県愛西市・春日井市のまちづくり指標と総合計画 - 自治体行政における社会指標型ベンチマーキングの活用 - 」、『人文社会論叢（社会科学篇）』、第22号、pp.35-68

(3)研究発表・講演

【講演】

「政策マーケティングの到達点と課題」、岩手県立大学総合政策研究科「政策マーケティング演習」、2008年12月13日、岩手県立大学アイーナキャンパス

## 山 口 恵 子

(1)現在の研究テーマ

都市の貧困と社会的排除に関する社会学的研究

中心・周縁における就業構造の変容に関する実証研究

(2)著書・論文ほか

【報告書】

山口恵子、2009年3月、「若者の大都市への移動と生活——青森県出身者へのインタビュー調査から」弘前大学人文学部付属雇用政策研究センター編集・発行『都市に暮らす地方出身の若者の就業状況と地元意識に関する調査研究』（EPRC研究報告書No.4）、79-99頁

【書評】

山口恵子、2009年4月、「書評：岩田正美著『社会的排除』」、『生活経済政策』148号、43頁

山口恵子、2009年6月、「書評：ロイック・ヴァカン著・森千香子・菊池恵介訳『貧困という監獄』」、『寄せ場』22号

[その他]

山口恵子、2009年10月、「ホームレスの人々をめぐる政策と問題——東京都を事例として」『生活協同組合研究』401号、24-31頁

(3) 研究発表・講演

Keiko Yamaguchi, Youth Homelessness and Social Exclusion in Japan, December 18, 2008, International Sociological Association, Research committee on Urban and Regional Development, Tokyo Conference 2008, Tokyo.

山口恵子、「温泉観光地における女性出稼ぎ労働者の流入メカニズム」第82回日本社会学会大会、2009年10月11日、立教大学

(5) 海外出張・研修、そのほかの海外での活動

サンフランシスコ、2009年8月5日～13日、アメリカ社会学会への参加等

(6) 科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

科学研究費補助金（若手研究B）「建設産業における若年不安定就業層の実態に関する社会学的研究」（研究代表）：3月まで  
弘前大学学長指定緊急重点研究「都市に暮らす地方出身の若者の就業状況と地元意識に関する調査研究」（研究分担）：3月まで

弘前大学若手萌芽研究「青森出身女性の地域移動と仕事に関する社会学的研究」（研究代表）：3月まで

科学研究費補助金（基盤研究C）「若者の地域移動と貧困化に関する社会学的研究」（研究代表）：4月より

(7) 共同研究

「移動研究会」弘前大学人文学部内教官

「若者の就労と移動」弘前大学人文学部内教官

弘前大学内地研究員派遣（東洋大学：2009年5月25日～9月24日）

## 平 野 潔

(1) 現在の研究テーマ

過失犯における注意義務概念

刑法における情報の保護

(2) 著書・論文・その他

[論文]

「患者の同一性確認義務」『青森法政論叢』10号（青森法学会、2009年8月31日）38-45頁

(3) 研究発表・講演ほか

[研究発表]

「過失犯における客観的注意義務と客観的予見可能性」日本刑法学会第87回大会（2009年5月30日、於：明治大学アカデミーホール）

[講演]

「裁判員のための刑事法の基礎」裁判員制度と世界の司法動向（2009年10月10日、於：人文学部多目的ホール）

(4) 学外集中講義

弘前学院大学「更生保護論」夏季集中講義

(8) 弘前大学人文学部で主催の学会・研究会

連続講演会・シンポジウム「裁判員制度と世界の司法動向」（2009年10月10日～11月7日、於：人文学部多目的ホール）（運営）

## 飯 考 行

(1) 現在の研究テーマ

東北地方の法律サービス提供構造に見る司法改革の影響、地域司法

裁判および裁判官に対する民主的統制（裁判官選任過程、裁判員裁判の実情）

大都市以外における弁護士業務スタイル

司法書士職の動向と裁判関連業務への取組み

諸外国の司法制度とその機能

(2) 著書・論文ほか

[論文]

飯考行「裁判官選任制度の再定位 - 日本におけるメリットセレクトションの継受と変容 - 」2008年度早稲田大学提出博士学位

論文 (2009年 3月) 1-338頁

飯考行「弁護士過疎地の市民事件における依頼者・弁護士関係と弁護士倫理」法社会学70号 (2009年 3月) 114-128頁

飯考行「少年司法教育のすすめ - 2007年度オムニバス講義の効果と課題」21世紀教育フォーラム 4号 (2009年 3月) 27-40頁  
Takayuki Ii, "Young Migrants from Big Cities : Measures for Dealing with the Shortage of Legal Services in Japan", in *Zeitschrift für Japanisches Recht* (Journal of Japanese Law) Nr. 27 (2009年 6月) pp.59-80

飯考行「裁判官制度における訴追と弾劾の位置づけ - メリットシステムの視点から -」弾劾裁判所報2009年号 (2009年 6月) 3-49頁

飯考行「法テラスにおける『国民の視点』の影響」法社会学71号 (2009年10月) 74-89頁

飯考行「メリットセレクションの視点からみた下級裁判所裁判官指名諮問委員会」自由と正義60巻10号 (2009年10月) 10-21頁

#### [学界回顧]

飯考行「司法問題」法律時報81巻13号 (2009年11月) 338-347頁

#### (3) 研究発表・講演

##### [研究発表]

飯考行「少年司法に関する大学教育と学生の見方」青森家庭少年問題研究会学習会 (グループ報告「非行少年自立支援『学生ボランティア活動』の学際的研究」) (2008年12月12日)

飯考行「少年司法教育の意義と学ボラとの連携」シンポジウム「非行少年自立支援における『学ボラ』実践の現状と課題」第1部研究報告「青森・弘前地区における『学ボラ』実践の現状と課題」(2009年 3月22日、青森市民文化ホール)

飯考行「東北地方における司法過疎の現状と対策 - 北東北を中心に -」ポスト「ゼロ・ワン」時代の司法過疎対策研究会 (2009年 3月27日、宮古島)

飯考行「日本における裁判官の弾劾と不再任の関係」日本法社会学会2009年度学術大会 (2009年 5月 9日、明治大学)  
Takayuki Ii, "Japanese Way of Judicial Appointment and Its Impact on Constitutional Review", The 3rd Asian Forum for Constitutional Law (2009年 9月26日、台湾・国立台湾大学)

飯考行「企画趣旨 - 裁判員制度の意義は何か」連続講演会・シンポジウム「裁判員制度と世界の司法動向 - 市民の司法参加の意義を考える」第1回 (2009年10月10日)

##### [パネリスト]

日本弁護士連合会弁護士任官等推進センター「弁護士任官シンポジウム 6年間の総括 - 弁護士任官のこれまでの成果と今後の発展を目指して -」(2009年 8月31日、弁護士会館)

##### [コメンテーター兼コーディネーター]

飯考行「司法のあり方と担い手の関係 - 実務法律家と裁判員への着目 -」青森法学会公開シンポジウム「司法の役割と国民的基盤」(2009年 9月21日、弘前学院大学)

##### [コーディネーター]

パネルディスカッション「青森県の裁判員裁判」連続講演会・シンポジウム「裁判員制度と世界の司法動向 - 市民の司法参加の意義を考える」第3回 (2009年10月24日)

#### (4) 学外集中講義

青森県立黒石高等学校専攻科看護科後期集中講義「社会保障制度と生活者の健康 (関係法規) 担当」(2008年10 - 12月)

岩手大学人文社会科学部前期集中講義「基礎法」担当 (2009年 9月)

#### (5) 海外出張・研修、そのほかの海外での活動

The 3<sup>rd</sup> Asian Forum for Constitutional Law 2009, Asian Constitutionalism at Crossroads : New Challenges and Opportunities, in Taipei, Taiwan (アジア憲法フォーラム第3回参加・報告、台湾・国立台湾大学、2009年 9月25日 - 26日)

#### (6) 科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など

平成19 - 21年度科学研究費補助金若手研究 (B)「東北地方の法律サービス提供構造に見る司法改革の影響と『法化』状況」(研究代表)

平成20-22年度科学研究費補助金基盤研究 (A)「ポスト『ゼロ・ワン』時代の司法過疎対策の研究」(研究分担)

平成21年度弘前大学人文学部部長裁量経費「連続講演会・シンポジウム 裁判員制度と世界の司法動向 - 市民の司法参加の意義を考える -」(飯考行、平野潔、長谷河亜希子)

#### (7) 共同研究

日本弁護士連合会「2010年弁護士業務の経済的基盤に関する実態調査」メンバー

#### (8) 弘前大学人文学部主催の学会・研究会等

小田切達 (青森県弁護士会会長) 講演会 (2008年12月11日) 企画

日當正男 (青森県行政書士会会長) 講演会 (2009年 7月 7日) 企画



連続講演会・シンポジウム「裁判員制度と世界の司法動向 - 市民の司法参加の意義を考える -」（2009年10月10日 - 11月7日、土曜日5週連続）企画  
伊藤佑輔（弁護士）講演会（2009年11月10日）企画

## 長谷河 亜希子

- (1) 現在の研究テーマ  
経済法、独占禁止法、フランチャイズ・システム
- (2) 著書・論文ほか  
[論文]  
「FC本部と加盟店の利益配分をめぐる問題 加盟店のgoodwillへの着目」法の科学40号（2009）195～200頁  
「フランチャイズ契約終了後の競争禁止義務について - 再論 - 」人文社会論叢社会科学編22号（2009）69～103頁  
[研究ノート、報告書、その他]  
「セブン・イレブンに対する排除措置命令について（公正取引委員会平成21年6月22日排除措置命令）」TKC速報判例解説  
Web版（2009年10月29日掲載）<http://www.tkclex.ne.jp/commentary/economy.html>
- (3) 研究発表・講演  
経済法判例研究会「郵便区分機事件差戻審（東京高判平成20年12月19日）」（於：主婦会館ブラザエフ2009年7月25日）
- (4) 学外集中講義  
放送大学面接授業2009年8月8日、9日（弘前大学50周年記念会館内）
- (6) 科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など  
文部科学省科学研究費（若手研究B）「日米におけるフランチャイズ契約規制の現状と課題」（課題番号20730037）

## 日 野 辰 哉

- (1) 現在の研究テーマ  
行政訴訟における集会的利益の法的構成  
M. オーリウを中心とした20世紀初頭における仏独公法学の交錯  
公的規制と契約の関連とその法構造（EU・英・仏そして日本との比較法）  
フランス行政法における契約論の展開  
科学技術の発展に伴うリスクの発生と行政による制御
- (2) 著書・論文ほか  
[論文]  
日野辰哉「行政の危険防止責任と作為義務成立の時期（1）～ 薬害C型肝炎訴訟判決を素材として ～」人文社会論叢（社会科学篇）21号pp.183-197（2009年2月）  
日野辰哉「海岸占用許可についての行政裁量と司法審査」自治研究85巻8号pp.111 - 130（2009年7月）  
日野辰哉「保育サービスの民営化・規制緩和と自治体行政」『法学セミナー』54巻10号pp.46～49（2009年10月）
- (3) 研究発表・講演  
[研究発表]  
「経済行政における政府規制のあり方」第25回早稲田行政法研究会（2009年7月）

## 福 田 健太郎

- (1) 現在の研究テーマ  
人権条約と民法  
私人間における基本権保護のあり方
- (2) 著書・論文ほか  
「民法160条の法意による同法724条後段の20年期間の適用制限」法律時報81巻2号116-120頁（2009年2月）  
「ヨーロッパ人権条約をめぐる近時破毀院判例の動向」人文社会論叢社会科学篇22号127-143頁（2009年8月）
- (6) 科学研究費補助金、そのほかの競争的研究資金など  
文部科学省科学研究費補助金〔若手研究（B）〕「人権条約を通じた私法規範の形成」（課題番号20730055）